

新型コロナウイルスワクチン接種について

事業費概算：125,304千円（補正要求額：121,133千円）

事業目的・概要

（すこやか健康課）

町民の新型コロナウイルス感染症予防を図るため、全町民（約17,000人見込み）のうち接種を希望する者に対しワクチンの接種を行う。

接種方法

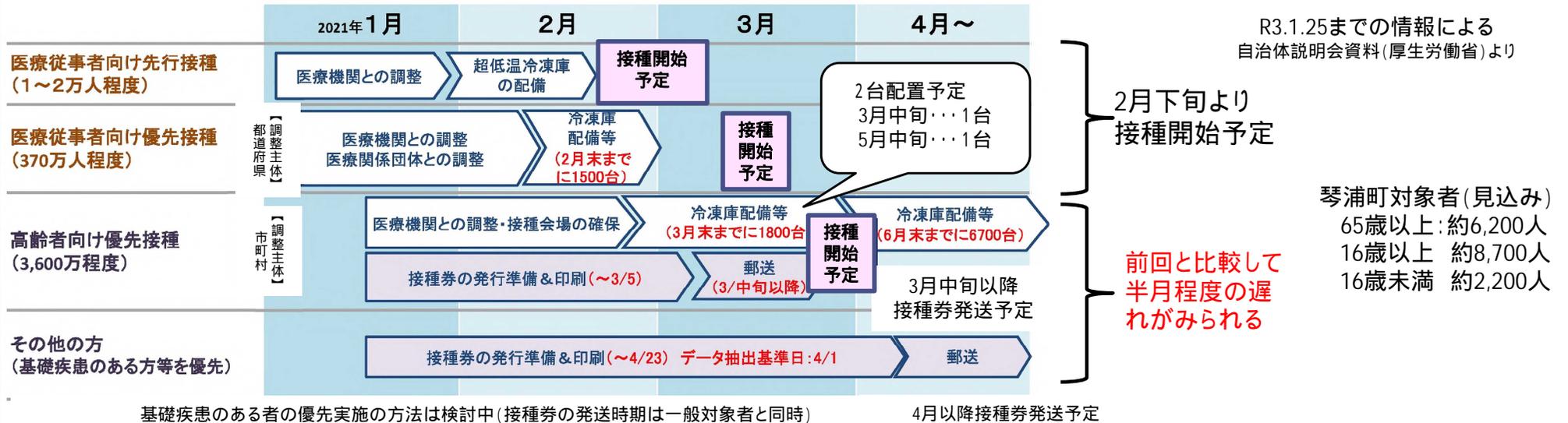
接種券の交付を受けた町民が直接、実施機関（医療機関または町（集団接種の場合））に予約を行い接種を受ける。

（回数：2回、接種間隔：21日以上または28日以上 ワクチンの種類による）

【実施方法】 集団接種・・・町の施設（保健センター）等において行う接種方法
個別接種・・・医療機関（かかりつけ医等）において外来の方法により行う接種方法

実施方法については、集団接種を基本に県・医師会等と調整中

接種スケジュール



事業内容・予算

事業費概算：125,304千円（補正要求額：121,133千円）

【内訳】 予防接種体制確保（財源：国庫補助金）4,171千円 12月定例会において承認済
 予防接種実施費用（財源：国庫負担金）78,653千円
 集団接種、一部個別接種（県外在住者等） 今後の調整状況により変更あり
 予約受付センター設置等委託料（財源：国庫補助金）34,266千円
 集団接種実施における予約受付、各種問い合わせ対応
 その他経費（財源：国庫補助金）8,214千円
 職員手当（正規職員時間外勤務手当）、会計年度任用職員、需用費、備品購入費

新型コロナウイルスワクチン集団接種体制について（検討資料）

R3.1.25自治体説明資料による集団接種体制

（すこやか健康課）

市町村が特設会場を設けた場合における接種の具体的なイメージ

必要な準備

- 会場の確保 ※医療機関でない場所を接種会場として用いる場合は、診療所開設の届出等が必要
- 運営方法の検討：直営／委託、運営管理責任者の明確化、予約受付方法、応急対応の方法 等
- 従事者の確保
- ワクチン等の配送先の登録：V-SYSに配送場所、担当者名、担当者連絡先等の情報を登録
- 必要物品の確保・保管

リハーサル動画を
提供予定！

当日の流れ

① 受付

検温、身分証明書の確認、予診票記載の案内

② 予診票確認

記載項目の抜け漏れ・不備のチェック、（2回目接種の場合）接種間隔や1回目接種ワクチン種別の確認

③ 予診（医師）

体調や持病を確認する等必要な診察を接種前に行い、予防接種を受けることが適当でない者または予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かの確認

④ 接種（医師または看護師）

薬液を充填する者（薬剤師等）も別に配置が必要

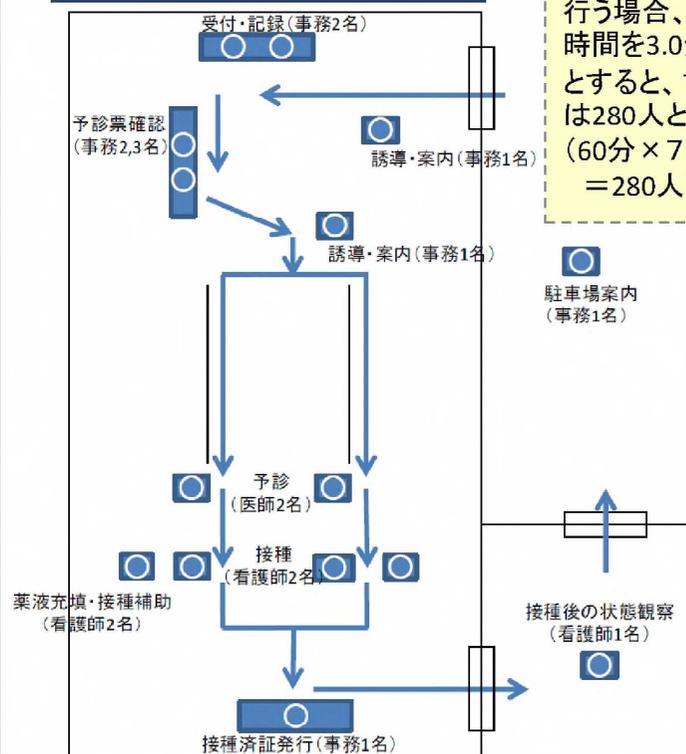
⑤ 接種済証の交付

接種したワクチンのワクチンシールを接種済証に貼用し、接種日・接種場所を記載する

⑥ 接種後の状態観察

アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じることがあるため、一定期間観察を行う

会場設営のイメージ



1会場あたり2列体制で接種を行う場合、予診から接種までの時間を3.0分、実施時間を7時間とすると、1日あたりの接種人数は280人となる
(60分×7時間÷3.0分×2列=280人)

LINEによるワクチン接種予約方法

操作イメージ(実際の画面とは異なることがあります)

LINEで琴浦町の公式アカウントを追加



ポイント!

LINEのアプリ内で直感的な操作で手続きが完了する
キャンセル手続きも簡単にできる
各種情報がアプリ内でアクセスできる
メールアドレスの登録が不要で、メールを受け取る設定 などの難しい設定手続きが不要
ドメイン指定の解除(迷惑メール対策などのための受信拒否設定の解除)

ワクチン接種に関する情報は、LINEで連絡することが可能となります。
2回目の接種予約忘れなどの連絡